

第651回

I B C番組審議会 議事録

— 議 題 —

「I B Cラジオスペシャル

躍動、支えたい ～若き義肢装具士の挑戦～」

2020年6月18日（木）

(株) I B C 岩手放送

第651回IBC番組審議会

1. 開催日時 2020年6月18日(木) 午前11時
2. 開催場所 IBCデジタルセンター3階Dホール
3. 委員の出席
- | | |
|---------|--------------|
| 委員総数 | 10名 |
| 出席委員 | 8名 |
| 出席委員の氏名 | |
| 委員長 | 田代 高章 |
| 副委員長 | 熊谷 志衣子 |
| 委員 | 佐藤 求 藤野 静枝 |
| | 星 伸寿 澤口 たまみ |
| | 菅原 和彦 小松 務 |
| 欠席委員の氏名 | 畠山 俊彰 龍澤 尚孝 |
| 会社側出席者 | |
| 鎌田 英樹 | 代表取締役社長 |
| 黒澤 秀之 | 取締役営業本部長 |
| 眞下 卓也 | 取締役メディア放送本部長 |
| 若槻 修 | 報道局長 |
| 中村 好子 | ラジオ放送部長 |
| 滝村 知大 | ディレクター |
| 事務局 | |
| 平澤 泰志 | 番組審議会事務局長 |
| 向井田真衣 | 番組審議会事務局員 |
4. 議題 「IBCラジオスペシャル 躍動、支えたい
～若き義肢装具士の挑戦～」
2020年5月31日(日) 午後11時25分～11時55分放送

5. 議事の概要

<委員の主な発言>

- 義肢装具士が非常に大変な職業だということをあらためて実感した。単純に作るだけではなく、相手の生活環境、あるいは気持ちとか、いろんな背景を見ながら作り込んでいく。特にアスリート、競技に臨まれる方の義肢は、本当に微妙な調整が必要だということも表現されていた。
- 番組に登場した義肢装具士とパラアスリート、二人の人生、辛い体験を乗り越えたからこそ素晴らしい出会いの交差点があり、心から拍手を贈りたいという思いになった。
- 非常に斬新で、ラジオ、音声って力があると感じた。通常、インタビュー形式で進むのがわかりやすいのかもしれないが、敢えて解説せずにイメージさせる構成は引き込まれるような印象を持った。一方、音声だとどうしても表現しきれない部分がある。男性2人の掛け合いは、どちらが話しているのか聞き分けにくいところがあった。
- 作り手の願いや登場人物の願いは、とてもよく伝わってきた。ラジオにはラジオなりのナレーションの文章テクニックが必要と思うが、今回はとても言葉で補うのが難しい内容だった。義足のイメージや音、場面などわかりやすく作ればすごく感動的になったと思う。
- 挿入されるアナウンサーの解説は邪魔しない程度に短いながら適切と感じた。一生懸命にやってくれる装具士さんがいることはアスリートにとって心強いだらうと思った。特にパラアスリートの選手が、相手があって初めて正解というか、やり取りの中でベストな義足が出来るということについて言及した言葉が印象深かった。
- パラアスリートに寄り添って一生懸命やっている、活躍している人がいるということをもっと宣伝してほしい。聞き終わって爽やかな気持ちになったが、テレビで見たい、映像の方がわかりやすい感じがした。